

## 書道Ⅲ シラバス (高校書道Ⅲ、東京書籍)

教科名(芸術) 科目名(書道Ⅲ) 単位数(2)芸術選択 担当クラス (3年)

書道担当:

### 1、学習の到達目標等

学習到達目標	<p>1、書道における創造的な活動を通して、書を愛好する心情を育てる</p> <p>2、書を楽しむ態度を通して感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深めていきます。</p> <p>3、1と2の学習を通して、個性豊かな表現の能力と書的美しさを感じ取る鑑賞の能力を伸ばしていきます。</p>
使用教科書・副読本	高校書道Ⅲ 2東書 / 書Ⅲ 301

### 2、授業計画

学期	月	配当時間	題材	目標及び主な指導内容	評価の観点
1	4	6	書之美を求めて	書道Ⅰ、Ⅱで学習してきたものを基に基本学習から発展させた書道芸術の表現まで理解できるようにする。	授業態度 ワークシート提出 練習作品の提出 清書作品の提出
	5	8	漢字の書 篆書の古典	甲骨文、金文、清時代の篆書作品を臨書して篆書の変遷を学ぶ。	練習作品の提出 清書作品の提出
	6	8	楷書の古典	建中告身帖、皇甫誕碑、薦季直表書風の異なる楷書の古典臨書を通して楷書の定義とその技法を学ぶ。	練習作品の提出 清書作品の提出
	7	6	草書・行書の古典	喪乱帖、黄州寒食詩巻等の古典作品を学習して草・行書の運筆法の技能を学びさらに発展させる。 半切作品に仕上げる。	半切作品の提出
2	9	6	篆刻	篆刻印の中の姓名印以外の印について学ぶ。	ワークシート提出
	10	8	隸書の古典	帛書、木簡、禮器碑、清時代の古典の臨書学習を通して隸書の技法を学ぶ。	半切作品 練習作品の提出
	11	8	仮名の書	書Ⅰ、Ⅱでは、学習しなかった仮名の古筆の臨書する。	練習作品の提出
	12	6	漢字仮名交じりの書	これまで学習してきた漢字古典と仮名文字とをバランスよく表現すること学ぶ。	作品の提出

学期	月	配当時間	題材	目標及び主な指導内容	評価の観点
3	1	8	作品制作(刻字)	漢字二字を書体、刻字の仕方を決め、さらに文言に応じた文字色も決め、刻	刻字作品の展示 作品の鑑賞会
	2	2	まとめ	これまでに学んできた鑑賞や臨書学習を通してどのような学びが出来たか、レポートする。	レポートの提出
	3	4	まとめ	これまでの大事な作品を表装仕立てにする。 作品展示発表と観賞会を行う。	

### 3、評価方法

- 1、提出作品、「学習記録」の記録状況、「学習のまとめ」の内容、用具・教材の扱いを含めた学習活動への参加の態度などを基に総合的に評価します。
- 2、学期全体の評価は、提出作品で60%「学習記録」と「学習のまとめ」で20%、学習活動への参加態度20%の配分で行います。
- 3、提出作品については漢字の書(臨書)においては対象となる古典の特徴を表現できたか、創作作品においては自分のいといったように表現することができたか、仮名については基本的な用筆、正しい字形が修得で
- 4、年間の学習評価は、1, 2, 3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。

### 4、評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	書を愛好し、古典の学習を通して書の文化や伝統についての理解をふかめようとしているか。漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の学習を通して、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、書の喜びを味わおうとしているか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・作品ファイルの整理状況 ・「学習のまとめ」の内容 ・提出作品 ・定期考査
芸術的な感受や表現の工夫	感性を高め、漢字仮名交じりの書、漢字の書、仮名の書の学習を通して個性豊かな能力を伸ばし、創造的な表現を工夫しているか。	・提出作品 ・「学習のまとめ」の内容
創造的な表現の技能	漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書において個性豊かな表現をするために、幅広い表現理論と技能を身につけているか。	・提出作品 ・作品ファイル
鑑賞の能力	古典の学習を通して書の歴史や文化について理解し、鑑賞の活動の中で書の部を噴石的、総合的にとらえ、そのよさや美しさを味わっているか。	・提出作品 ・「学習のまとめ」の内容